

・議事（1） ボランティア養成講座について

○前回までの協議の整理

- ア 講座の目的 地域の中で活動するボランティアの養成（生活支援・介護予防関係）
- イ ボランティアの範囲 ボランティアポイント事業におけるボランティア
～介護保険サービスにおける訪問介護員 の範囲
- ※参考（生活支援関係）
- ・ボランティアポイント事業で想定している活動の例（資料2）
 - ・介護保険による生活援助として提供可能なサービスの内容（資料2）
 - ・介護保険による生活援助として提供できないサービスの内容（資料3）
- ウ 講座の進め方 ボランティア養成をやりながら、リーダーとなるべき人を更に養成していく
- エ 講座の内容 丸藤委員が各委員から必要と考える内容を聴き取り、原案を作成

○協議の趣旨

丸藤委員・阿知波委員が作成した講座の原案（資料4）を基に、内容を固めていただきたい。
（※リーダー養成については、後日改めて協議）

○論点

ア 原案についての質問・意見等

- ・カリキュラムの内容に応じ各委員間で質疑応答・意見交換
- ・定員、1コマあたりの時間、実施回数等は原案で良いか
- ・開始・終了をいつ頃とするか
- ・各委員がカリキュラムのどの部分でどのような協力をすることができるか
（〇〇の講義について、委員または委員の所属団体の方が講師としての参加が可能等）

イ 養成されたボランティアの対応

- ・修了証の有無をどうするか
- ・ボランティアに名称をつけるか
（生活・介護支援サポーター、地域支援サポーター、地域支えあいボランティア等）
（ボランティアポイント事業では介護支援ボランティアという名称にしている）
- ・養成されたボランティアの登録やマッチングをどのように行うか
- ・養成されたボランティアが連携・協力することで、活性化が図られる地域資源はないか